



TITLE:

十月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

十月の天象. 天界 1929, 9(103): 523-525

ISSUE DATE:

1929-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161469>

RIGHT:

十月の天象

太 陽

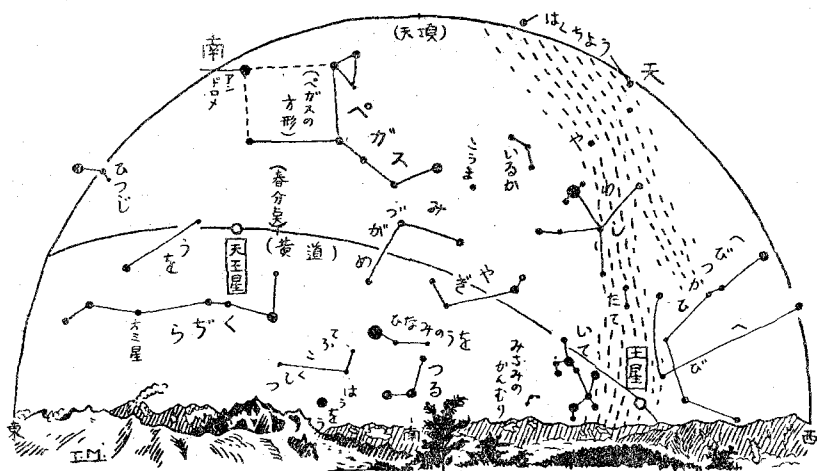
日	赤 經	赤 緯	星 座	視直径
1	12時28分41秒	南 3度 6分	なこめ	32分 1秒
11	13 5 12	6 56	なこめ	32 6
21	13 42 29	10 37	なこめ	32 12
31	14 20 50	14 3	てんびん	32 17

月始め天秤宮にありて、23日から天蝎宮に侵入する。星座は月中殆んど、「なこめ」座に居るのであるが、月末の31日から「てんびん」座に入る。

月

月の相	時 刻	星 座	視直径
新 月	3日午前 7時19分18秒	なこめ	31分32秒
上 弦	11 午前 3 5 12	い て	29 33
満 月	18 午後 9 5 54	う た	31 41
下 弦	25 午後 5 21 12	か に	32 14
遠地点通過	10 午後11 42	い て	29 33
近地点通過	23 午前 7 0	ふたご	32 25

今月は、3日午後10時に、月が水星を超越す。翌4日には又、午後5時には火星を追い抜く。此の時はまだ、月齢が若いので見えにくいかも知れないが、小型望遠鏡でもあれば、見る事が出来るであらう。此の時、月は火星の北側1度の所を通りすぎるのである。鋭い鎌形の月に、赤い火星の配合は面白からう。9日午前8時には土星に追い付き、越えて17日午後3時には天王星と出合ふが、前者の場合は時刻の都合悪く、後者では満月に近い光輝のため、共に見る事が出来ない。22日午後1時に木星と出合ひ、27日午後9時には海王星を超越するのであるが共に見られぬ。又30日午後9時に金星に追付くが、此れも駄目。31日午後1時には、水星の南側をすれすれに追い抜く珍景があるが、日中であるので、相當の望遠鏡がなければ此の珍景を見る事は出来ない。



十月の遊星界

水星 月初めに「をさめ」座スピカ星近くにて、逆行して居り、8日に内合となりて、以後曉の空に現はれる。17日0時に「をさめ」座γ星附近で留となる。19日早朝に近日點通過。24日午前4時に西方最大離角となる。離角は18度23分。月始めは觀望は駄目であるが、月末にはよい。其の頃の光度は0等。視直經は6秒余。

金星 曉の星であつて徐々に太陽に近付いて行く。月始めは「しし」座の中央に居るが順行を續けて、16日には「をこめ」座へ入る。19日午前2時に近日點を通過して、月末には「をこめ」座K星附近まで進む。光度は、 ± 3 等級3等半を持続し、視直徑は12秒から11秒に減少する。

火星 甚だ太陽に近附いたので観望は不便である。「をこめ」座を順行。月末に「てんびん」座に入る。視直経は本年最小の3.74秒である。

木 星 宵の星。「をうし」座東部を順行し、5日留となりて后逆行に移る。光度は負2等。視直経は42秒で極大に近い値いである。宵に東天に登る。

土 星 宵の西空に正1等星として輝く。星座は「いて」座の西端にあつて、順行してゐる。視直経は14秒。

天王星 宵の東天「うを」座の中央にあり。光度6等。視直經3秒余。

海王星 曉の星。「しし座」星近くを順行する。光度8等、視直經2秒。